市施設における LED 照明導入の推進について

- 国では、2030 年度までに LED 化率 100%を掲げており、本市においても **2030 年度までの LED 化率 100%**を目指す
- 直管蛍光灯の製造・輸出入が **2027 年末までに廃止**することが決定、LED 照明の導入を**前倒しも含め、これまで以上**に計画的に進めていく必要あり
- 環境保全基金の**残高にも限りがある**ため活用の検討も含め、積極的な LED 化推進をお願いしたい

1 照明に関する動向

(1) 政府の方針

地球温暖化対策計画 (令和 3 年 10 月閣議決定)	<家庭部門、業務その他部門の取組> LED 等の高効率照明について 2030 年までにストック*で 100%普及することを目指す
政府実行計画 (令和 3 年 10 月閣議決定)	既存設備を含めた政府全体の LED 照明の導入割合を 2030 年度までに 100%とする。

※ストックとは設置されている照明器具のこと

(2) 蛍光灯に係る動向

「水銀に関する水俣条約第 5 回締約国会議（23 年 11 月）」において、**一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を 2027 年 12 月 31 日までに廃止**されることが決定

2 本市における LED 照明の導入目標および導入状況

(1) 導入目標

2030 年度までに市施設の照明の LED 化率 100%を目指す

(2) 導入状況（2024 年度末時点）

照明総数	LED	非 LED	LED 化率
387,662 台	162,225 台	225,437 台	41.8%

※「照明総数」とは市施設における全ての直管型照明の台数（LED、蛍光灯）。

※学校を除く ※局別の導入状況は別紙参照

3 本市における LED 照明の導入推進

(1) 市施設の LED 化について

- ・ 2030 年度完了に向けて、各局において計画的に LED 化を進めていくことが必要
- ・ 環境保全基金（環境局所管）が活用可能
※脱炭素化推進事業債は延長が無ければ、R7 年度までの予定

(2) LED の導入手法

導入手法	工事		リース
	通常の工事	デザイン・ビルド*	
初期費用 (工事費等)	必要		不要
環境保全基金	利用可（条件あり）		不可
その他	導入が複数年になる可能性	導入期間の短縮が可能	台数や点灯時間が多い ほど費用対効果が高い

※西区役所および楠支所において、2023 年度にデザイン・ビルド方式をモデル実施。

<環境保全基金>

市施設の照明 LED 化に係る工事費用に充当可。

照明の LED 化に係る 基金残高見込	127,180 千円*
基金充当額 (条件あり)	10 千円/台

※**残高がなくなり次第終了**